

FUJIFILM DR CALNEO C 1417 Wireless : 機能・特長について

富士フイルムメディカル (株) 岡 律朗

1. 徹底した高画質の追求が、FUJIFILM の独自技術に結実

(1) FUJIFILM 独自の新発想「ISS 方式」FPD 搭載

少ない X 線量でもシャープな画像を提供します。光拡散が少なく、減衰も最小限に抑えることができ DQE・MTF 共に良化。

(2) ISS 方式とは

従来型の FPD とは反対側の X 線照射面側に光センサー (TFT) を圧着した独自発想「ISS 方式」による間接変換方式 FPD を搭載。独自の新方式により X 線信号の散乱、減衰を大幅に抑制 (MTF の向上)。また、長年イメージングプレート (IP) を作り続けてきた FUJIFILM 独自の精密塗布技術により、シンチレータ層の最適化に成功 (DQE 向上)。GOS シンチレータで当社従来型 CR に対し約 3 割減の線量で同等の画質が得られます。) また、ラインナップに CsI (ヨウ化セシウム) 柱状結晶シンチレータを加え従来タイプを凌駕する高画質を実現。

2. 自在な「Wireless (無線) / Wired (有線)」を実現

(1) 半切サイズの DR カセット

(2) 厚さ 14.8mm の最薄 (旧 JIS 規格の厚さ 15.0mm にも対応)

(3) 高速な無線 LAN 通信 (無線 LAN 規格 IEEE802.11n を採用し、5.2GHz に対応)

(4) 軽量設計 (バッテリーを搭載しながら重さわずか 3.3kg。さらに耐荷重 150kg (全面))

(5) 大容量バッテリー (1 枚のバッテリーで約 750 画像または約 3 時間 30 分待機。バッテリーの交換も可能)

(6) 充電方法は 2 通り (バッテリー交換 (Wireless) とケーブルチャージ (Wired))

3. 撮影シーンに応じてケーブルの有無を自在に切り替え

(1) Wireless モード→Wired モードの切り替えは、わずか 1 秒。

(2) Wired モードでは、バッテリーを自動で充電。

4. Fast Imaging ソリューション (撮影業務効率の向上と検査時間の短縮を実現)

(1) わずか 1 秒で画像表示 (X 線照射後、約 1 秒で画像を表示。瞬時に画像確認ができ、次撮影のフォローが格段に早くなります。また、患者さんの負荷低減にも寄与します。)

(2) 撮影間隔 9 秒 (約 9 秒の間隔でスピーディな撮影が可能。連続した複数枚撮影

でもストレスのないワークフローを提供します。)

- (3) 照射野自動認識 (X線の照射野を自動で認識し最適なサイズへ自動トリミング。画像編集時間が短縮され、編集作業の負担が軽減されます。)

5. FUJIFILM だけの Image Intelligence (画像処理技術)

- (1) EDR 自動照射野認識濃度調整機能搭載。

どんな部位の撮影でも、最適な濃度を調整無しでご提供します。

- (2) 胸部経時サブトラクション画像もご提供できます。(オプション機能)

6. FUJIFILM だけのすぐれたワークフローをご提供。

制御装置 Console Advance (1台のコンソールで CALNEO シリーズと FCR を一括制御)